

平成26年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

小 論 文

(生物資源科学部 地域環境科学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は3ページである。解答用紙は5枚、下書き用紙は3枚である。
指示があってから確認し、解答用紙5枚と下書き用紙3枚のすべての
所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて所定の解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはならない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

小論文問題紙

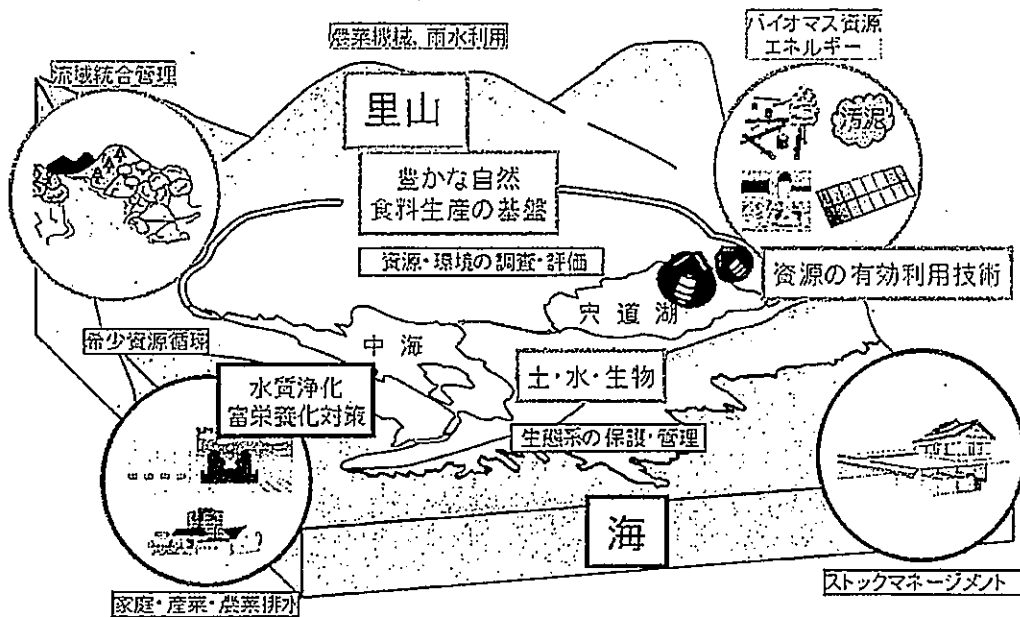
生物資源科学部 地域環境科学科

次の課題1、2、3のうち2つを選択し、選択した課題に対して解答せよ。なお、解答を必ず課題ごとに指定された解答用紙に記述すること。

選択しなかった課題の解答用紙も提出すること。下書き用紙は解答の下書き、アイデアのメモ、レイアウト、文章の構成等、自由に用いてよい。下書き用紙も提出すること。

課題1

図は、地域環境科学科の教育研究内容の概要を示すイラストです。いま、あなた自身がまさに山に落下しようとする雨滴になったと仮定して、山に降ってから海に流れ着くまでの間に経験するであろうことを、図を参考にしながら順序立てて400字以内で科学的に論述しなさい。ただし、山から海までの途中経路は想像力を膨らませて自由に決めてかまいません。



課題 2

次の文章を読んで、下の課題 2-1 及び課題 2-2 に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典：佐藤健太郎著「化学物質はなぜ嫌われるのか」2008年、技術評論社)

課題 2-1

あなたがサインを拒否した 1 人であったと仮定し、上の文章に基づき DHMO の使用規制に賛成しない理由を 200 字以内で科学的に説明しなさい。

課題 2-2

あなたの身の回りにある物を 1 つ挙げ、その働き（あるいは効果・用途）とリスクについて、300 字以内で記述しなさい。

課題3

次の文章を読んで、下の課題3-1及び課題3-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典：2013/4/3 朝日新聞 「豊かなのに苦しい」わけは 大竹文雄 (大阪大学教授))

課題3-1

下線①「私たちの人的資本が以前と同じ水準にあったのでは、その価値は低下し続けていく」とは、どのような事を意味していますか。文中の表現を用いて説明しなさい (200字以内)。

課題3-2

下線②「私たちは従来とは異なる水準、異なる質の能力を身につけていく必要がある」に関連して、あなたが大学で身につけたい能力について、将来展望を踏まえて説明しなさい (400字以内)。